

病院での窓口負担が軽減されます!

「限度額適用認定証」を上手に使ってください!

70歳未満の組合員または被扶養者の診療にかかる費用が高額療養費に該当しそうな場合は、入院・外来を問わず組合員証等（保険証）と一緒に「限度額適用認定証」を病院窓口で提示することで支払いが自己負担限度額までとなります。

手続きは、所属所の共済事務担当課へ「限度額適用認定申請書」を提出するだけです。上手にご利用ください。

自己負担限度額の計算例（70歳未満）

給料月額	所得区分	適用区分	限度額計算方法
特別職：830,000円以上 一般：664,000円以上	上位所得者Ⅰ	ア	252,600円 + (医療費 - 842,000円) × 1%
特別職：530,000円以上 830,000円未満 一般：424,000円以上 664,000円未満	上位所得者Ⅱ	イ	167,400円 + (医療費 - 558,000円) × 1%
特別職：280,000円以上 530,000円未満 一般：224,000円以上 424,000円未満	一般Ⅰ	ウ	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1%
特別職：280,000円未満 一般：224,000円未満	一般Ⅱ	エ	57,600円

「限度額適用認定証」を提示した場合と提示しない場合の窓口で支払う金額を「所得区分：一般Ⅰ」で計算してみました。

医療費100万円で「適用区分：ウ」の共済太郎さんの場合 ⇒ 負担割合：3割

① 限度額適用認定証を提示した場合



窓口で支払う金額
(自己負担限度額)

87,430円に
なります。

医療費 100万円		7割 700,000円
3割 300,000円	高額療養費 212,570円 (共済組合が支払)	共済組合負担
自己負担 限度額 87,430円		

② 限度額適用認定証を提示しない場合



窓口で支払う金額
(医療費の3割)

300,000円に
なります。

医療費 100万円		7割 700,000円
3割 300,000円	高額療養費 212,570円 (共済組合より送金いたします)	共済組合負担
全額ご自身でお支払いいただき後日、高額療養費 212,570円を共済組合より送金いたします。		

高額療養費等計算式

自己負担限度額	$80,100円 + (1,000,000円 - 267,000円) \times 1\% = 87,430円$
高額療養費	$300,000円 - 87,430円 = 212,570円$
一部負担金払戻金等	$87,430円 - 25,000円 = 62,400円(100円未満切り捨て)$

* 70歳以上75歳未満の方については、共済組合から発行されている「高齢受給者証」を提示していただくことで同様の窓口負担となりますので申請の必要はありません。

お問い合わせ先 保険課 ☎048-822-3306